

平成 23 年度
国際委員会・中国ビジネス研究会
活動報告

平成 24 年 4 月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

目次

目次	1
国際委員会・中国ビジネス研究会 委員名簿	2
国際委員会・中国ビジネス研究会の開催報告	3
日・中 企業情報化ソフトウェアサミット 徐州準備会議	4
第1回 日・中 企業情報化ソフトウェアサミット実施報告	5
「上海国際人材交流協会からの訪日ミッション」実施報告	7
その他地域の活動	9
まとめ	10

国際委員会・中国ビジネス研究会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

●国際委員会

委員長 大三川彰彦 トレンドマイクロ株式会社(CSAJ 常任理事)

●中国ビジネス研究会

主査 竹原 司 株式会社デザイン・クリエイション(CSAJ 理事)
委員 岡片 功 株式会社アイプラザ
吉田 一也 株式会社アスペックス
何 建強 イノベークス株式会社
藤沢 由裕 株式会社インテリジェント ウェイブ
芳賀 紳 株式会社インフィニテック
大原 泉 株式会社オービックビジネスコンサルタント
吉良平四郎 株式会社キャパ
浦 聖治 クオリティ株式会社
松村 幸治 グレイステクノロジー株式会社
ゴン 欲暁 グリッド・リサーチ株式会社
松村 克彦 サイボウズ株式会社
原澤 瑞希 株式会社 C S K
長島 昇 システムロード株式会社
千潟 康夫 T A C株式会社
張 佶 長城コンサルティング株式会社(CSAJ 理事)
蕭 烟森 株式会社 DBMaker Japan
林 知之 東京システムハウス株式会社
小屋 晋吾 トレンドマイクロ株式会社
村瀬 正典 株式会社バース情報科学研究所
伊達 和久 株式会社 BCN
松江 芳夫 株式会社日立ソリューションズ
浅野 悦男 株式会社ビジネスアプリケーション
山本 哲男 フォーディーネットワークス株式会社
祖山 博史 株式会社フォトハイウェイ・ジャパン
松村 一央 株式会社富士通マーケティング
斎藤 洋平 フューチャーアーキテクト株式会社
杜 穎富 ベース株式会社
本間 千夏 マジックソフトウェアジャパン株式会社
五十木 正 株式会社ワークスソリューションズ(CSAJ 常任理事)
オブザーバ 山本 英己 一般社団法人情報サービス産業協会
事務局 高部美紀子 社団法人コンピュータソフトウェア協会
井上 星子 社団法人コンピュータソフトウェア協会
山田 篤子 社団法人コンピュータソフトウェア協会

※平成 24 年 3 月 31 日時点、1 社で複数名参加の場合は代表の方のみ掲載

国際委員会・中国ビジネス研究会の開催報告

中国市場への進出を目指し、現地の情報を収集すると共に、現地日系企業や関連団体等との交流を通じてネットワークやビジネスパートナーを作るため、各種セミナー・視察ツアー等を企画・実施しました。

●中国ビジネス研究会の開催実績

中国進出の事例情報や海外動向などに関するセミナー等を企画・開催するとともに、一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）日中部会との協力により情報交換等を行いました。

また、アジアの関連団体との交流・情報収集、さらにはビジネスマッチングをも含めた活動を推進するため、10月28日～30日に開催した「日・中 企業情報化ソフトウェアサミット（開催地：中国・徐州）」にて、中国ソフトウェア産業協会（CSIA）と相互協力を行う覚書を締結しました。なお、日・中 企業情報化ソフトウェアサミットをCSAJとCSIAで共同開催するにあたり、CSAJ側ではワーキンググループ（リーダー：五十木 正 株式会社ワークスアプリケーションズ・CSAJ 常任理事）を設置し、日程調整・プログラム企画など具体的な活動を行いました。

<研究会の開催>

- ・第1回 日 時：平成23年5月10日（火）15:00～17:00
場 所：関東ITソフトウェア厚生年金基金 会議室
議 題：1. 中国曙光集団成都クラウドセンターとの戦略パートナー提携について（グリッド・リサーチ／ゴン氏）
2. 最新の中国事情（長城コンサルティング／張氏）
3. 「2011 日台ITビジネスアライアンス交流会（台湾開催）」のご案内（DBMaker／井坂氏）
4. 10月のCSAJ-CSIAの調印から第1回のイベントについて
- ・第2回 日 時：平成23年7月26日（火）10:00～12:00
場 所：CSAJ 会議室
議 題：1. 「中国最新情報」（長城コンサルティング／張氏）
2. 「日・中企業情報化ソフトウェアサミット準備会（徐州）」参加報告（ワークスアプリケーションズ／五十木氏）
3. 「中国ビジネスのご紹介と中国市場進出に当たっての提言」（リーディングソフト／劉氏）
- ・第3回 日 時：平成23年10月19日（水）10:00～11:40
場 所：CSAJ 会議室
議 題：1. 中国最新情報（長城コンサルティング／張氏、アイプラザ／岡片氏）
2. 「日系ITベンダーの動向に見る中国ビジネスの今」（BCN／谷畑編集長）
1) 中国の情報サービス産業の売上規模と推移
2) 日系ITベンダーの動向に見る中国ビジネスの今
3) 中国地場ITベンダーは日系ITベンダーをどう見ているか
3. 10月末徐州開催「第1回日・中企業情報化ソフトウェアサミット」の概要について（ワークスアプリケーションズ／五十木氏）
- ・第4回 日 時：平成24年1月31日（火）16:00～17:30
場 所：CSAJ 会議室
議 題：1. METI/IPAによる東アジア展開（METI／石田氏、IPA／宮澤氏）
2. 大連のITビジネスの現状（EcoDesign Planning(HongKong)Limited 陳氏）
3. 日・中ソフトウェアサミット報告（ワークスアプリケーションズ／五十木氏）

<ワーキンググループの開催>

- ・「第1回日・中 企業情報化ソフトウェアサミット（開催地：中国・徐州）」の開催に向けた具体的な準備を行うため計3回の会合を行い、7月の中国・徐州でのCSAJ/CSIA合同の準備会を経て、10月28日～30日に無事終了しました。

日・中 企業情報化ソフトウェアサミット 徐州準備会議

日・中 企業情報化ソフトウェアサミット開催に向けた準備会を以下の通り中国徐州市で行われ、日本側 (CSAJ) からは五十木リーダーをはじめ 11 名、中国側 (CSIA) からは 10 名が参加し、議論が行われました。

- 日時：2011 年 7 月 14 日 (木) 21:00～22:00、15 日 (金) 14:00～15:00
※7 月 15 日 (金) 午前 中国・日本側からそれぞれサミットの意義、徐州市の説明
- 場所：徐州市徐州開元名都ホテル
- 準備会で決定・確認された主な事項は以下の通り。
 - ・名称 日中 企業情報化ソフトウェアサミット
 - ・会期 10 月 21 日 (金) ～22 日 (土)
 - ・場所 徐州市、徐州開元名都ホテル
 - ・プログラム案の確認 (同時通訳付きとする)
 - 準備会にて議論された内容をそれぞれ組織に持ち帰り、7 月末頃までに双方提示
 - ※21 日 (金) は終日会議とし、午後のプログラムの一部に分科会スタイルを入れる
 - 22 日 (土) の午前中は企業訪問とソフトウェアパーク訪問
 - ※テーマは「それぞれの国が何を必要とし、何を求めているか？」のイメージ
 - ・参加者
 - 中国側より CSIA が 100-150 名、徐州市が 50 名参加を予定
 - 日本からの参加者は大震災後の経済不況のため最低 20-30 名程度
 - ※日本側から、中国側の参加者にユーザ企業を希望
 - ・参加費
 - 日本側参加者に対する参加費 (有無/金額/徴収方法など) については、中国側から日本側に後日回答

以上

第1回 日・中 企業情報化ソフトウェアサミット実施報告

平成23年10月28日～30日徐州市にて中国ソフトウェア産業協会との初めての共同プロジェクトとして「第1回日・中企業情報化ソフトウェアサミット」（日本側プロジェクトリーダー：五十木常任理事）が開催されました。CSAJからは25企業・団体36名の参加。徐州市の投資大会が並行して行われたこともあり、前夜祭は1000人規模の屋外ショウが催され、盛大な幕開けとなりました。

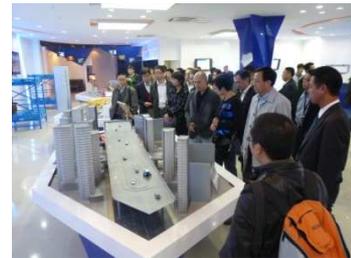


翌日のサミットでは、国家工業情報化部楊副大臣、国家ソフトウェア産業徐事務次官を始め、江蘇省経済情報化委員会陳主任、徐州市人民政府張市長らが参列し、格調高い会となりました。日本側は前川専務理事の基調講演・東洋ビジネスエンジニアリングの羽田氏による講演を経て、23社の各企業が発表を行い、その後の名刺交換会や夕食会で、中国側とのビジネスのきっかけ作りのために積極的なアプローチを行いました。



サミット2日目は、徐州市のソフトウェアパークを訪問、その後に集群集団を見学、会議室にて6社の中国側からの企業説明を受け、活発な質疑応答が行われました。

徐州市は、製造業が盛んな都市ですが、IT化（情報化）はまだ遅れており、日本の技術・ソフトウェア・ソフトウェア企業に対して大変な興味を持っているように思われました。



なお、このサミットの中で、当初より計画されていた、CSAJと中国ソフトウェア産業協会（北京）の交流に関する覚書の調印、また中国ビジネス研究会と徐州市ソフトウェアパークとの交流協定、さらに訪問企業5社とソフトウェアパークとの協力協定が結ばれました。



サミット2日目が終了し、最終日は上海経由にて帰国いたしました。

上海では帰国便までの数時間、上海市の一部を視察し、徐州市との違い、また急激な発展を遂げた上海への驚きなど、それぞれ参加者の感想が語られました。



帰国後の参加者からのメールで、中国側とのビジネスの可能性が広がるなど、明るい報告もいただきました。

日・中企業情報化ソフトウェアサミットプログラム

テーマ	時間	内容	発表者
10月28日（金）到着			
到着、招待宴会	17:00	徐州駅に到着	
	18:00-19:30	招待宴会（VIP）	中日参加者
		自由度がある招待宴会	中日参加者
	20:00-21:30	ダンスパーティー	中日参加者
10月29日（土）「徐州開元名都大酒店」			
10月29日午後（13:00-18:30） 司会：徐州市政府幹部 同時通訳（2名）			
開幕式	13:30-13:35	開幕の挨拶	曹新平 徐州市政府の党代表
	13:35-13:40	挨拶	中国工業・情報化部の部レベル幹部、市レベルの幹部
	13:40-13:45	挨拶	中国ビジネス部の市場秩序司の幹部
	13:45-13:50	挨拶	江蘇省の幹部
	13:50-13:55	挨拶	趙小凡 CSAIの副理事長
	13:55-14:00	挨拶	CSAJ和田会長（日本代表団の代表）
企業信頼性評価の公布	14:00-14:05	企業信頼性評価の公布	尹洪涛 中国工業・情報化部の処長
	14:05-14:15	2011年企業信頼性評価に関する授賞式	中国工業・情報化部、中国ビジネス部、CSIAの幹部
調印式	14:15-14:30	①CSAJ-CSIA（会長レベル）、②CSAJの中国ビジネス研究会-徐州ソフトパーク管理委員会、③中国企業-インフォグリーン㈱	CSIA、CSAJ、徐州ソフトウェアパークの代表
中日工業ソフトウェア産業について	14:30-14:50	中国工業ソフトウェア産業の未来	吳澄 中国工程院 院士（メンバー）
	14:50-15:10	クラウドについて	CSAJ専務 前川
	15:10-15:40	泉山区及び徐州ソフトウェアパークについて	泉山区政府の幹部
	15:40-16:00	中国企業：特別招待される企業のテーマ	集群情報産業集団
	16:00-16:20	製造業におけるITソリューション導入のポイント	羽田氏
午後（16:20-18:30） 司会：泉山区政府の幹部			
ビジネス商談会	16:20-16:40	中国企業の紹介	中国企業の代表
	16:40-17:30	日本企業の紹介（建築・機械・製造業・組み込技術）	本プロジェクトリーダー 五十木氏
	17:30-18:20	中日ビジネス交流会	中日企業の代表
	18:20-18:30	閉幕挨拶	徐州市泉山区の幹部
夕食	18:30-20:30	夕食会	全員
2011年10月30日（日）			
訪問	8:40-10:40	企業訪問、ソフトパーク見学	中日参加者
	10:40-12:00	中日企業交流会 場所：「集群集団」の会議室	中日参加者 中国工業ソフトウェア協会を含め
	12:00-13:00	昼ご飯	
	14:00	帰国	

日本側から参加した企業（現地関連会社の参加含む）

株式会社オービックビジネスコンサルタント	株式会社アスペックス
上海欧比西晟峰軟件有限公司	株式会社BCN
株式会社ワークスアプリケーションズ	株式会社メディアミックス
北京利衆得応用技術有限公司 上海分公司	イノベークス株式会社
株式会社デザイン・クリエイション	株式会社タイムインターメディア
長城コンサルティング株式会社	アイティマークス株式会社
株式会社バース情報科学研究所	グローバルワークス株式会社
クオリティ株式会社	株式会社ASCOM
株式会社ビジネスアプリケーション	株式会社コスモ・コンピューティングシステム
フォーディーネットワークス株式会社	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
株式会社インフィニテック	社団法人コンピュータソフトウェア協会
トレンドマイクロ株式会社	一般社団法人コンピュータ教育振興協会
才望子信息技术(上海)有限公司(サイボウズ上海)	

※「第1回日中企業情報化ソフトウェアサミット終了報告」は以下のWebに掲載。
http://www.csaj.jp/info/11/111028_china.html

「上海国際人材交流協会からの訪日ミッション」実施報告

中国上海市より、宝山区の若手公務員や産官学工業パーク（区政府、復旦大学、企業）担当者、企業関係者（19名）が、電子商取引の知識・経験に関する勉強やIT関連企業などとの交流等を目的に来日され、2月7日（火）にはCSAJに来協し、中国ビジネス研究会メンバーとの意見交換会を以下の通り開催しました。

●会 期：2012年2月7日（火）13:00～14:30

●場 所：CSAJ 会議室

●主 催：日本／社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）
中国／上海国際人材交流協会大阪事務所

●訪日企業等(19名)：

上海市宝山区公共人事サービスセンター(団長)	上海市宝山職校校企合作弁公室
上海市宝山区公務員局(副団長)	上海張行実業有限公司
上海市宝山区商務委員会	上海宝山科技ホールディングス
上海市宝山区發展和改革委員会	上海庙行商業發展有限公司
上海市宝山区航運經濟發展区管理委員会	上海淞南資産經營投資有限公司
上海市宝山区經濟委員会	上海宝経科技産業公司
上海市宝山区科学技術委員会	上海工業房地產信息服务有限公司
上海市宝山区人民政府弁公室	上海国際人材交流協会
上海宝山航運經濟發展区管理サービスセンター	

●CSAJ 中国ビジネス研究会参加企業等(10名)：

株式会社デザイン・クリエイション(主査)	ベース株式会社
イノベークス株式会社	株式会社ワークスアプリケーションズ
長城コンサルティング株式会社	社団法人コンピュータソフトウェア協会
株式会社BCN	

●内容

初めに、竹原主査より訪日歓迎の挨拶があり、双方の参加者の紹介が行われました。続いて、CSAJ事務局より協会活動の紹介、竹原主査より中国ビジネス研究会の活動紹介が行われました。その後、張黎萍団長より挨拶と宝山区の紹介が行われ、続いて、活発な意見交換が行われました。主な内容は以下の通りです。

・宝山区の紹介と今回の目的について紹介

上海市宝山区は、上海市内から車で15分程の北部(海沿い)に位置し、人口約180万、中国最大の鉄鋼総合生産企業である「宝山鋼鉄」や「石洞口発電所」など大型企業のほか上海大学のメイン・キャンパスがあり、鉄道は3路線利用可能など交通の便も発達している。今回は、復旦大学の近くにあるソフトウェアパークや上海大学の近くにあるアニメーションパーク、そして文化産業パークなどについて紹介があり、張黎萍団長からは、今回の訪日ミッションを架け橋に、日本と宝山区との今後の交流を図っていききたいとのこと。

・主な意見交換

日本側からは、ソフトウェアパークへの日本企業の誘致において、宝山区としての特徴について質問があり、立地や交通の便、日本語を話せる人材育成などが挙げられる。また、ソフトウェアのクラウド化の現状についての質問に対しては、現在データセンターの設置も検討中であるなど、活発な意見交換が行われました。

最後に、上海宝山区側と日本側との名刺交換および記念撮影が行われ、「上海国際人材交流協会からの訪日ミッション」は、無事終了しました。



<挨拶する竹原主査>



<上海宝山区訪日団の皆さん>



<全員で記念撮影>

Web 報告⇒http://www.csaj.jp/info/12/120207_shanghai.html

その他地域の活動

○Romania – Japan Software Meeting の開催



2011年11月22日、CSAJ国際委員会（委員長：大三川彰彦／CSAJ常任理事・トレンドマイクロ株式会社）主催により、「ルーマニアとCSAJのソフトウェアミーティング」が開催されました。今回の意見交換会は、在日ルーマニア大使館商務部公使参事官（経済商務担当）のヴァレンティン・パヴェル氏の紹介によるもので、ルーマニアからの政府および情報技術通信協会（ATIC）の10企業10名の訪日にあわせて開催され、日本側からは、CSAJ会員企業から8社9名が参加し、活発な意見交換が行われました。

ルーマニアは、もともとは農業中心の産業であったが、最近ではブロードバンドのスピードがヨーロッパの中でトップであり、また、数学・ITも得意としている。ITにおいては、ハードやソフトなどの知識が高く、他には多くの外国語が堪能とのことでした。特にIT技術者の所得税はかからないということには、大変興味深いところでした。

- CSAJ国際委員会委員長代理 小屋氏（トレンドマイクロ株式会社）らの歓迎の挨拶



- ATIC／Florin VREJOIU氏よりルーマニアのソフトウェア事情等について紹介



- CSAJ／前川専務理事より日本のソフトウェア事情等について紹介



●ルーマニア訪日企業・団体

1. Ministry of Economy, Trade & Business Environments
2. SC AGORA IT&C SA
3. S. C. APSISWARE
4. SC GREENSOFT SRL
5. THE NATIONAL INSTITUTE FOR RESEARCH AND DEVELOPMENT IN MICROTECHNOLOGIES (IMT)
6. SC. PSS-PROSOFT SOLUTIONS SRL (PSS)
7. SC ROPARDO SRL
8. SC TELETRANS SA
9. Romanian association ATIC
10. Romania embassy

●CSAJからの参加企業

1. TREND MICRO Incorporated
2. GREEN CAT CO., LTD
3. Information process System Institute
4. K.Nihon Software Creative
5. Legend Applications Inc
6. MacroBridge Corporation
7. SYSTEM CULTURE Co., Ltd
8. Business Application Co., Ltd.
9. CSAJ

- 最後の質疑応答では、予定時間をオーバーするほど活発に行われ、終了後も各々名刺交換が積極的に行われました。

- Web 報告⇒http://www.csaj.jp/info/11/111122_romaniarepo.html

まとめ

<中国ビジネス研究会の活動を通じて>



中国ビジネス研究会
主査 竹原 司

本研究会では、発足当初は、中国からプログラマーを日本に招へいする場合の課題、あるいは、日本から中国に開発を発注するオフショア開発など、日本国内の開発力の不足をいかに解消するか、が主たるテーマでした。

しかし、ここ3～4年の間は、中国の情報関係市場の急成長に伴い、また、日本国内市場の縮小も相俟って、日本の情報産業がいかに中国市場に進出するか、というテーマが中心となってきました。

これらは、一朝一夕には行かない奥の深い課題であり、日中両国の様々な市場環境の差異を克服していくことが求められる困難な仕事です。

今後とも、このニーズは高まる一方と考えられ、本研究会では、引き続き、日本の情報産業の中国市場への進出を中心テーマとして、人材やオフショアの課題とともに、深く追求していきたいと考えております。

<第1回 日・中 企業情報化ソフトウェアサミットを開催して>

サミット実行ワーキンググループ
リーダー 五十木 正



2005年から2009年までに4回開催した「アジア エンタープライズ アプリケーション フォーラム」は、日中韓を基軸に約10カ国が参加する盛大なイベントに発展しましたが、むしろ本来の狙いである中国市場にフォーカスすることが困難になってきました。

そのような時期に中国ソフトウェア産業協会(略称 CSIA)から中国伝統企業(=製造業)の現代化と情報化に日本の製造業向けソフトウェアを紹介してほしいとCSAJに申し入れがあり、当サミットを開催することになりました。

第1回の様子は前述の通りですが、時間をおかず中国側から第2回の開催要求があったことでその期待と成果を推察いただけたと思います。ちなみに第2回は本年6月に東京で開催するべく調整中であります。また第3回については、内陸部中核都市の成都市からすでに誘致の申し入れがあり、中国側の日本のソフトウェアへの期待の大きさをうかがえます。

日本にとって中国は従来のソフトウェアのオフショア開発拠点に加え新たに“ソフトウェア市場”も形成されつつあり、中国ビジネス研究会としてはCSIAと連携し当イベント等を通じてタイムリーに情報を共有していきたいと思っております。

平成 23 年度 国際委員会・中国ビジネス研究会 活動報告書

平成 24 年 4 月 発行

発行 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-15 日本自転車会館 1 号館 5 階
TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441
URL : <http://www.csa-j.jp/>

©2012 Computer Software Association of Japan